

こんな事故が多く起きています。

いますぐ
確認!

おうちではキケンがいっぱい



← 他にも危険な事例がたくさんあります。確認してみましょう。


◀ 救急お役立ちポータルサイト

FDMA 消防庁
Fire and Disaster Management Agency

救急ポータルサイト


検索

※発生事例の多い順に番号をつけています。
参考資料「東京消防庁救急搬送データからみる日常生活事故の実態」

1位 ころぶ 


風呂場、段差、洗面所など

少しの段差や濡れた床などで転ぶ可能性があります。目を離さないようにしましょう。

2位 おちる 


階段、窓、ベランダなど

転落防止の柵をつけたり、踏み台になるものを置かないようにしましょう。

3位 たべる 


たばこ、薬、電池など

飲み込めそうなものは、手の届くところに置かないように注意しましょう。

4位 ひっかける 

ブラインドの紐、水筒のストラップなど

手の届かないところに置き、ひも付きのものは外して遊ばせるようにしましょう。

5位 ぶつかる 

机の角、テーブルの角など


角の部分はやわらかいもので保護しておくなど、ぶつけてもいように工夫しましょう。

**事故の原因を知って
対策をしましょう!**

6位 やけど 


アイロン、熱い飲みものなど

やけどのおそれのあるものは子供の手の届かないところへ置くようにしましょう。

7位 はさむ 


窓、ドア、引きだしなど

危険と思われるところには、鍵などをして開けられないようにしましょう。

8位 きる 


包丁、カミソリなど

使用後はすぐに片づけて、簡単に開けられない場所に収納するようにしましょう。

9位 ささる 

ペン、歯ブラシ、ヘアピンなど

ささりやすいものは使用後に片づけるなど、整理整頓を心がけるようにしましょう。

10位 おぼれる 

風呂場の水、ビニールプールなど

水深が浅くても溺れます。少しの時間でも目を離さないように注意しましょう。